

一年生も広野っ子の一員に

学校が再開し1か月。子どもたちの歓声が聞こえるようになってきました。しかし、これまでの学校の日常が戻ったわけではありません。私たちは、子どもたちと共に、「新たな学校の生活様式」を進めています。

3ヶ月の休校は、子どもたちにとってマイナスだけでなくプラスの面も多くあったことでしょう。これまでにない家族の時間が持てたことと思います。ご家庭では、大変なこともあったでしょうが、大人がいなくても家ですごせるようになったり、自分の得意な学習を見つけたり、家族のために時間を使うことができるようになった子もあり、有意義な「おうち時間」の機会になったことと思います。

しかしながら、家庭で過ごす時間が長かったことは、これまでの学校時間からずいぶん離れていたこととなります。なかでも1年生は、入学式も行えず、2か月の間、学校生活を知らないままの家庭学習となり、おうちの方だけに限られた中での課題をこなす毎日であり、6月の入学式以降始まった小学校生活に戸惑いを見せる子や家族と離れて友だちと過ごす生活に時間がかかった子もいました。

そんな中、6月24日に1年生をむかえる会を開くことができました。当日、上級生の1年生を迎える喜びが爆発しました。どの学年もプレゼントを用意したり出し物を工夫したり、とりわけ6年生は、1年生に喜んでもらおうと、コロナと熱中症に対応した新たな企画を実践しました。1年生の子どもたちの顔もどんどんほぐれ、広野小学校には、たくさんのお兄さんお姉さんがいること、ドラえもんがいること、広野小学校には、たのしいことがいっぱいあることが感じられたと思います。そして、広野小の一員であることを実感したと思います。



全校生に迎えられる1年



校歌の意味を教える6年生

1年生もやっと広野っ子の一員に

さて、広野小学校では、今後、新型コロナウイルスの感染防止を第一に考え、熱中症予防に取り組み、休校中に生まれた学習習慣や生活習慣などの個人差に対応し、個々の学力保障に努めます。そして、昨年度までの研究を前進させるべく 研究テーマを

伝え合い 自ら学びを創る子の育成

つなぎを活性化するための手立ての構築

を掲げ、コロナ防止対策の中で伝え合い・学び合いをどうするのか、つなぎの土台となる基礎学力の定着を図るには、などを大きな課題とし、自分と友だちと課題とそして未来へつないで参ります。

8月7日まで1学期は続きます。そして、8月17日から2学期がスタートします。暑い夏に、たのしい学びが創れるように、職員一丸となってがんばります。



学校クイズを楽しむ1年生